

No.	15-1-12	場所	高森町月夜平下	次世代への継承キーワード	情報伝達網整備
名称	胡麻目川の氾濫で流失した民家			河川	天竜川本川
災害現象	家屋の被災			支流	胡麻目川
補足事項					

高森町吉田地区では、大島川から押し出された土砂が出砂原集落を埋めた。巨岩を積み上げた長さ約 500mにわたる惣兵衛堤防は、200 年以上もこの地域を守ってきたが、竜の背のごとく盛り上がった天竜川は堤防を乗り越え、地上部のほとんどが押し流された。田沢川は鉄砲水により下流一帯が一面河原となり、11 名の犠牲者を出した。

●体験談：〇〇

雨は止む様子もなく降続く中を田圃の『あと』を切ったり家の廻りを見廻っていると、**有線が河原の民家は今晚上の段迄待避する様にと**言う。其中に人命に気を付ける様にと夕方になって心細い放送です。早目に夕食をすませて戸塚さん宅へ子供三人と病気中のおばあさんを近所の方々のお蔭でやっと水の中を押切っておかり致しました。まあこれで一安心、自分達は家へ飛降りて、若し畳の上に水がついて来た場合に困ると思って布団を片付けに来て思い付き「あ」おばあさんのしゅ瓶を持って行ってやらなければ今晚困ると思いきすぐしゅ瓶をとどけて、家へ来ますと電気が消えて真暗になってしまったのです。マッチを持ちにお父さんと囲炉裏へ手さぐりで入って行くと急に物凄何とも言へない音がしてがらがら々々石垣でもくんで来るかと思ったら何んと言ってよいか恐ろしい振動に私達はこけてしまったのです。無我夢中です早く起きて外へ逃げ出しました。其の時のおっかなさ、又悲しさは口で言っても言い切れません。裏の大きな土手がくんで来て、我が家の部屋から座敷が土砂で押出され家が遂につぶれてしまったのです。まさか家がやられるとは一寸も考へていなかったのに何んとも恐ろしい事が到来したのでしよう。家族六人着のみ着のままの災害者になってしまいました。

（「災害の市田郷」より）

記 録



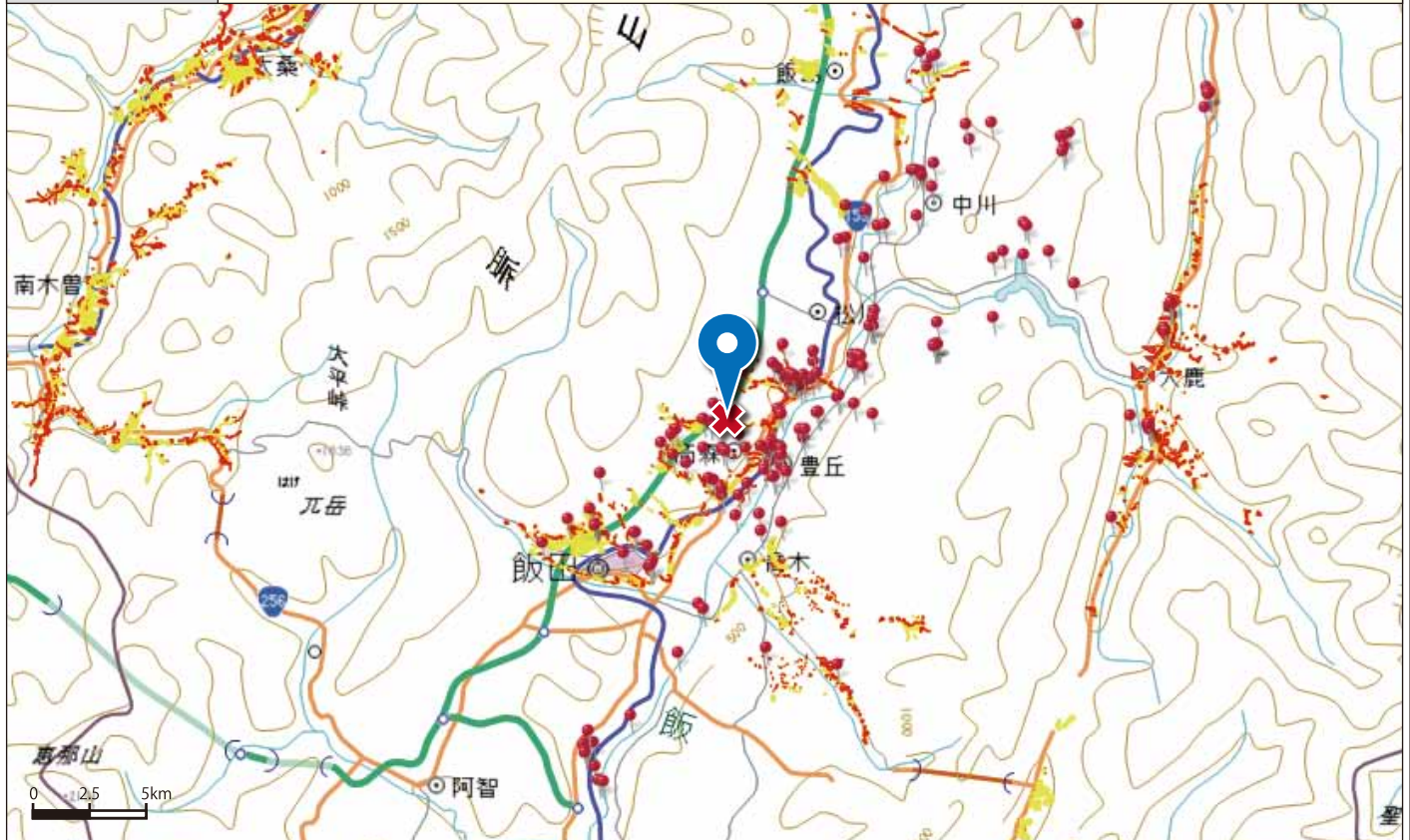
月夜平下の胡麻目川の氾濫で流失した家屋

出典	「36 災害 20 周年記念 災害の記録」p.33/「災害の市田郷」 p.76				
備考					

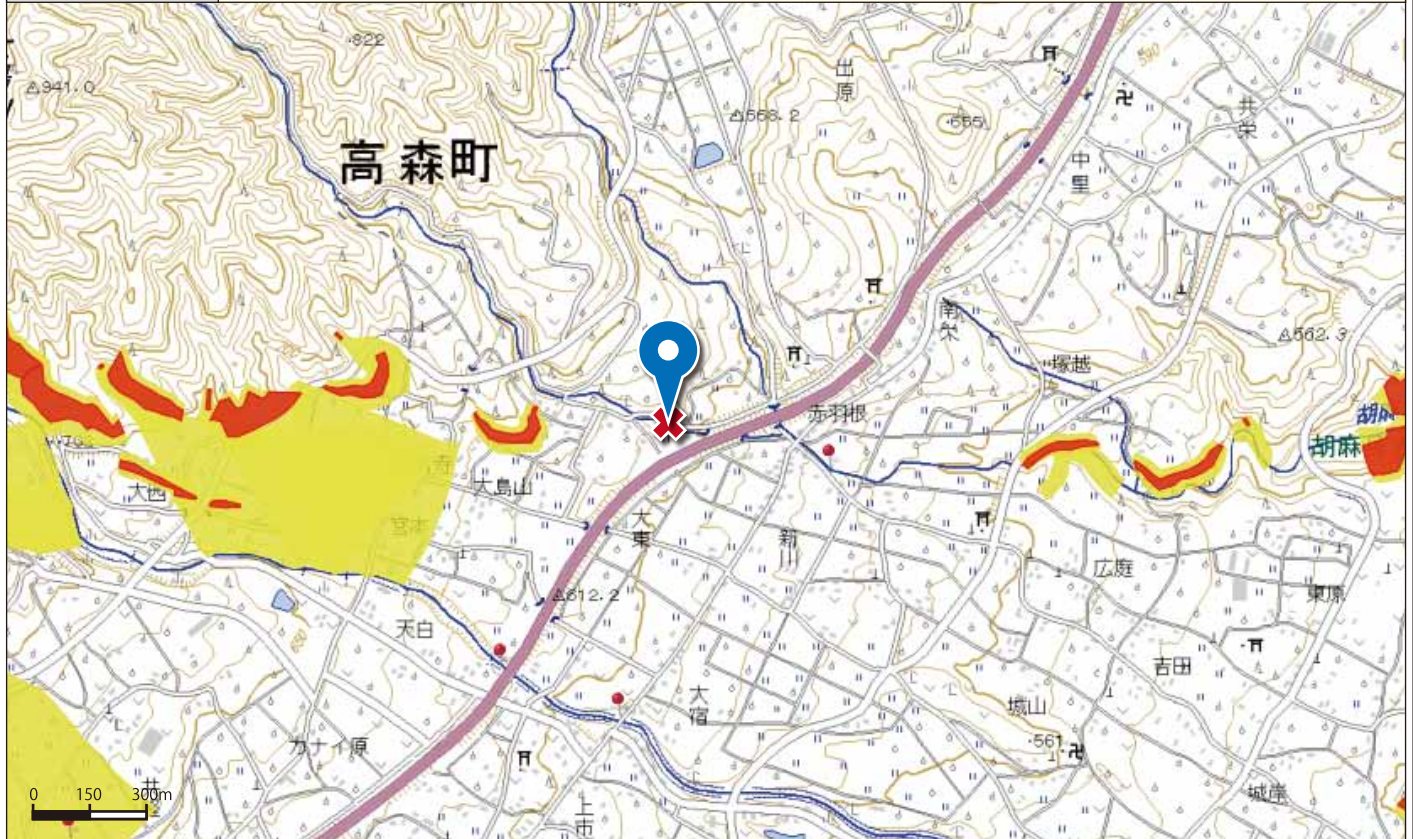
No.	15-1-12	場所	高森町月夜平下	緯度	35.564760
-----	---------	----	---------	----	-----------

名称	胡麻目川の氾濫で流失した民家	経度	137.864165
----	----------------	----	------------

地図 広域図



地図 詳細図



備考 上記地図に表示されている、黄色の区域は「土砂災害警戒区域」（通称：イエローゾーン）といい、土砂災害のおそれがある区域を指します。また、赤色の区域は、「土砂災害特別警戒区域」（通称：レッドゾーン）といい、土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域を指します。